

保育所の問題と日本の未来を考えるシンポジウム

「市区町村」「保育所経営者」「保育士」「母を雇用する企業」「都道府県」「国」「保育所を利用する親」

女性が働くという事が一般化した中、産後に仕事と育児を両立させるには保育所が必要であり、保育所に子供を預けられなければ、仕事を続けることが出来ないのが現状である。それにも関わらず、保育所は不足しており、結果として、女性が育児と仕事の両立が難しい事を理由に子供を産む事を諦めてしまう事態も発生している。夏の参議院議員選挙に向けて、国政の行く末を決める重要な時期にきています。人口減少が問題になる今、様々な立場の保育園をめぐる関係者が集い、それぞれの立場から議論を行い、不平不満を政治・行政に伝えると言うだけに留まらず、解決策を政策として提言できる所を目指します。

基調講演：小阪有花

ミスマガジン2004 グランプリ受賞。芸能界で活躍された後、保育園で保育補助働く。保育園プロデューサーとなり、今年4月には千葉県市原市に「ウィズママ保育園」を開園するなどの活動をしている。



保育園経営者側 小阪有花 天才キッズクラブ 楽学館保育園 施設長 田中孝太郎 **母親側** 30万人のママネットグループの一員 一般社団法人マザー・ニア 代表理事 川上美保氏 **地方行政・議会関係者** 下田大気（武蔵野市議）、榎本あゆみ（港区議）、渡辺清人（新宿区議）のパネラーとしての出席が決まっており、現在、国会議員、行政の担当者にも声をかけています。

日時：2016年5月31日【火】18:30～21:00

会場：東京ウィメンズプラザ ホール（会費3000円）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 表参道駅徒歩7分

全当事者の意見を発表し解決策を考える日本で始めてのイベントです。

主催 「保育園落ちた日本死ね」問題を考えるシンポジウム実行委員会

実行委員会メンバー（団体）

株式会社ジャパン・エクスプレス・チャイナ NSコンサルティング行政書士事務所 平成立志塾
行政書士勝手連総合法務事務所 あなたを応援します！プロジェクト

連絡先 実行委員会代表（ふるさとプロデューサー、経営革新等認定支援機関代表、行政書士 水野哲也）

TEL 090-3064-4702 t-mizuno@jp2cn.jp

ふるさとプロデューサーとは、経済産業省が平成26年度補正でインターンシップによるOJT研修を実施して育成した人材です。高齢化・人口減少社会において、国民が全国で安心して快適な暮らしを営んでいけるよう、元気な地方を創り、地域経済の活性化を図る役割を担っています。経営革新等認定支援機関は、中小企業に対して専門性の高い支援事業を行うこととして、経済産業大臣、金融担当大臣の認定を受けた機関のことです。行政書士とは「行政に関する手続の円滑な実施に寄与し、あわせて、国民の利便に資することを目的」とした国家資格です。陳情・請願を法定業務に含み、行政の専門家として社会問題に対して適切な対処方法、解決策をアドバイスする役割を担っています。今回の企画は、それらの地方創生、中小企業支援に携る専門家、行政の専門家のネットワークと、保育に関わる有志が実行委員会を形成して主催しています。